

宗谷

宗谷教職員組合


宗谷情報「ミニ」第2号 2019年4月8日発行
発行責任者:古川 正史

〒097-0004 稚内市緑2丁目4-21 宗谷教育会館
Tel 0162-22-2480 FAX 0162-22-2484
web: <http://www.soya-teachers.org> Mail: info@soya-teachers.org



メールは
こちら→

新しい北海道知事が誕生！ これからの北海道はどう変わっていくのか？教育は？？ そして私たちの運動は…？？



経済政策に関する2

来道外国人観光客を20年度に年間500万人、道産食品輸出額を23年までに年間1500億円に増やす

自動運転の実験拠点を北海道につくりたい

2氏の主な公約(右)

鈴木直道氏

産前産後の切れ目ない支援体制の整備。待機児童ゼロに向けた保育施設の拡充や保育士の処遇改善

子育て

医療人材の確保や救急医療の充実。産科のない地域の助産師外来開設。外国人への医療提供の問題に対応

医療

学力・体力の地域別の重点指導方針を策定。低所得世帯の子どもに対する高等教育の無償化

教育

原発は原子力規制委員会が審査する安全性の判断を大前提にし、総合的に判断。エネルギーの地産地消の推進

エネルギー

プラス面とマイナス面を総合的に勘案し、道の「基本的な考え方」をベースに道民目線を大切に早期に判断

IR

路線見直し問題は、地域の実情や市町村の意見などを踏まえ、関係機関による検討・協議を早急に始める

JR

4月7日、北海道知事選が行われました。結果としては高橋はるみ知事の後任にあたる鈴木直道候補が当選確実（7日深夜現在）となりました。投票率は59.81%と、前回より若干上昇しました。それだけ道民の意識が高まった結果だろうと思います。

STVの調査によると、今回の選挙に関わり「教育の政策を重視した」という投票者は4%台と、意識としては低くなりました。鈴木候補の教育の公約をみると以下の通りになっています。

学力・体力の地域別の重点指導方針を策定。低所得世帯の子どもに対する高等教育の無償化

教職員として、子どもたちに「勉強を理解して欲しい」「たくさん遊んで元気な体をつくってほしい」と思うのは当然の願いです。どのような力を育てるのか…子どもたちの実態からつくる教育課程づくりがやはり重要です。全国学テの結果は一つの見方として捉えつつ、平均点だけに踊らされない「わが学校の教育・宗谷の教育」をつくっていくことが大切です。また低所得世帯の高等教育の無償化については実現すると大きな前進となります。この「高等教育」とは高校だけを指すものなのか、それ以上も含むのか…そして低所得のボーダーは…と曖昧な部分はまだありますが、この公約をきっかけとしてさらなる前進を目指していきましょう。

また、「活力あふれる北海道」にするにも鈴木候補は述べています。公約の実現に向けても豊かな教育条件・定数改善は絶対的に必要な項目です。まずはこれからえがお署名が始まります。保護者や地域の方と語ると「教職員の思い」だけではなく、「地域の総意」となります。豊かな教育はみんなの願いです。より良くしていくためには今こそ力合わせが重要です。頑張っていきましょう。